

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	MRI を用いた内リンパ水腫評価 (研究番号：1026)
当院の研究責任者 (所属)	鈴木幹男 (大学院医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	<p>めまい、聞こえにくさ、耳のつまり感、耳鳴りを繰り返す病気としてメニエール病があります。メニエール病の起こる原因ははっきりとしておりませんが、メニエール病の方は蝸牛（耳から入った音を聞こえの神経に伝える場所）や前庭（体のバランスを保つ場所）内を満たしているリンパ液が多い状態にあることが分かっています。このリンパ液が多い状態を内リンパ水腫といいます。その為、内リンパ水腫を評価することがメニエール病の診断になります。</p> <p>しかし、今まで内リンパ水腫の状態を検査で確認することが難しかったため、メニエール病はめまい、聞こえの悪化、耳のつまり感、耳鳴りなどの症状が繰り返されることでしか診断ができませんでした。その為、症状がはじめて出てきたときにはメニエール病の診断は困難でした。</p> <p>ところが、最近の研究で、磁気を用いた MRI 検査にて内リンパ水腫の評価が可能となってきました。今回我々はメニエール病の診断に MRI が有用かを検討する為にこの研究を行おうと考えました。</p> <p>この研究によりメニエール病の方の初回の症状出現時に MRI を撮影することで早期にメニエール病であることが分かり、適した治療が早い段階から可能になると考えます。</p>
研究実施期間	研究の期間は研究機関の長の許可日から 2025 年 12 月 31 日までを予定しています。
調査データ(該当期間)	2022 年 1 月から 2025 年 12 月までの情報。
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 研究に参加していただくのは琉球大学病院耳鼻咽喉科外来を受診し、聞こえの悪化やめまいを繰り返されており、頭の中に病気がないかを調べる

	<p>為に造影剤を用いた MRI を予定している方になります。また年齢は 20 歳から 79 歳までの方となります。</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>内リンパ水腫 MRI 画像</p> <p>基本情報：生年月日、性別、合併症、過去の手術歴、現在の内服薬</p> <p>疾患情報：診断名、発症日、めまい・難聴発作頻度</p> <p>聴覚平衡機能検査：純音聴力検査、眼振検査、カロリック検査（前庭機能評価）、グリセロールテスト、蝸電図検査</p> <p>問診内容：めまいの頻度、耳閉感、耳鳴りの程度</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	試料/情報の他の研究機関への提供はありません。
試料・情報の二次利用	本研究で取得した試料・情報の利用は、本研究のみに限り、二次利用は行いません。
個人情報の取り扱い	研究で得られた情報は、ご本人のプライバシーを侵害することがないように匿名化し、機密情報として管理いたします。検査データは、本研究以外には使用しません。研究成果は匿名化の上で学術講演会・医学雑誌に発表予定ですが、個人情報がもれることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	研究は耳鼻咽喉・頭頸部外科講座の委任経理金を用いて行います。委託経理金の提供者と本研究の利害関係はありません。
お問い合わせ先	電話： 098-895-1183（琉球大学病院耳鼻咽喉科外来） 担当者：近藤俊輔（耳鼻咽喉・頭頸部外科 医師）
備考	